檜山教育局による地学協働活動推進のための広報

ひとづくり　や　まちづくり

ひやまをつなごう

第6号　令和4年(2022年)10 月

●発　行:北海道教育庁檜山教育局
●担　当:教育支援課社会教育指導班
●電　話:0139-52-6525(直通)
●メール:hiyakyo.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

1　地域と学校の連携事業のご紹介（江差町）

ケアカフェ in 北中学校

江差町立江差北中学校で、江差町役場高齢あんしん課主催の「ケアカフェ in 北中学校」が９月１日（木）に開催され、２年生９名が参加しました。

歯科衛生士や保育士、図書館司書などの 11 職種の方々が講師を務め、仕事内容や適正、資格取得の方法などを含めたそれぞれの専門職の魅力を話しました。

ケアカフェの様子

介護老人保健施設カタセール江差
介護福祉士　浅沼博人さん
「入居者とのコミュニケーションをとるため、野菜作りに取り組んだり、レクで盛り上がるゲームを考案したりと、いろいろな工夫を行っている。大変な仕事だがその分やりがいも大きい。」と講話で生徒に伝えていました。

デイサービスセンターひのき
作業療法士　丸山徹也さん
「専門職は中学生にとってはなじみがないと思うが、これを機会に1人でも多くの子が専門職を目指してくれればよいと思った。」と今回ケアカフェに参加した理由を話していました。

参加した生徒は、「たくさんの職業の魅力について知ることができました。将来の夢について考えるいい機会になりました」と話すなど、充実した交流となりました。

2　放課後子ども教室のイベント紹介（乙部町）

乙部町放課後子ども教室（おとべ kids クラブ）で９月６日（火）、“藍の生葉（なまば）のたたき染め”が行われました。昔の人々の知恵について学びを広げ、地域の人々との交流を通して乙部町の「ひと・もの・こと」を再認識することを目的とした「おとべの縄文を学ぼう」プログラムの一環で行われました。町内で自然の草木を使った染色活動をしている「シコロ染めの会」の方を講師に招き、藍の葉や桜の葉を使用した染色を行いました。

思い思いの模様を考えながら作成

花火をイメージして葉っぱを配置したり、きれいに葉の色を移すためにいろいろなたたき方を試したりするなど、参加した子どもは工夫を凝らして活動に取り組んでいました。

参加者からは、「ハンマーでたたいて、手がとても疲れたけれど楽しい体験ができた」「昔から伝わる体験ができて楽しかった。」「はじめは葉の緑だったのが洗うことできれいな青に変わって不思議だった」などの感想が聞かれました。

おとべkidsクラブを担当している乙部町教育委員会学校教育指導主事の田澤利行氏は「少子高齢化が顕著に進行し地域課題となっている。次代を担う子どもたちが地域の良さを知りふるさとに心を向けるよう、様々な活動を通して、子どもたちと地域の『ひと・もの・こと』をつないでいきたい」と今後の活動について話されました。

3　学校の魅力ある取組のご紹介（上ノ国高校）

上ノ国町教育委員会の協力のもと、上ノ国高校はNPO法人いきたすが運営する対話型授業「カタリ場」を9月14日（水）に実施し、同校の1，2年生30名と松前高校の2年生24名が参加しました。

座談会で日頃の悩み等を相談

生徒が客観的に自らの姿を俯瞰し、今後の生き方・あり方を考える機会とするキャリア教育の一環として行われた授業は「座談会」と「先輩の話」を軸としたワークショップスタイルで行われ、ボランティアで参加した18名の大学生が主体となって進行しました。

「座談会」では大学生1名と高校生3，4名がグループを作り、関心のある分野や進路の悩みなどについて交流しました。生徒はワークシートを活用しながら自分の考えを整理していました。

「先輩の話」では「嫌なことから逃げてしまうキミへ」「自分の素を出すのが怖いキミへ」などの4つのテーマで、大学生が自らの高校時代の体験や失敗談を語りました。生徒は興味のあるテーマの話に耳を傾けていました。

最初は緊張していた様子の生徒も、徐々に大学生と打ち解け楽しそうに交流を深めていました。あっという間の2時間で、生徒にとって将来の進路や生活について考えるよいきっかけとなりました。

興味のある「先輩の話」を聞く

グループの大学生が話しやすくて、すごく楽しかった。
「先輩の話」で体験談を聞いて、後悔しないように勉強を頑張って、充実した学校生活を送れるようにしたいと思いました。とても良い経験になりました。

1年生　古館　葵一さん

大学生と交流するのは初めてで、とても貴重な経験になりました。
将来のためになるような話をたくさん聞くことができました。「自分の夢や目標の実現のために、新しいことにたくさん挑戦したらいいよ」と話してくれたのが心に残りました。

2年生　宮城　拓海さん

中学や高校の先生と比べて、カタリ場できてくれた大学生は自分たちと年齢が近くて、すごく親近感を覚えました。
「先輩の話」がとても分かりやすかったです。「自分のやったことがないことに挑戦する」「幸せなことを大事にする」など、ためになるお話をたくさん聞くことができました。

2年生　田代　梨紗さん

上高生の感想コーナー

◇ ◆ ◇ 檜山教育局からのお知らせ ◆ ◇ ◆

○アンケートの協力について

右記のアンケートより、「家庭教育サポート企業が関わる記事をもっと読みたい」「大成中学校の久遠神楽の記事が良かった」などのご感想をいただきました。

引き続きアンケートのご協力お願いいたします。

情報提供・アンケートはこちらから！！

※ＱＲコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です